

千里ライフサイエンスフォーラム開催のお知らせ

2023年11月フォーラム(第361回)

- **開催日時**：2023年11月6日(月) 18時00分～19時00分
※終了後19時00分～20時00分に懇親会を実施します。
- **開催形式**：千里ライフサイエンスセンタービル6F 千里ルームAにて会場参加と講演収録。後日約1カ月録画配信
- **配信対象**：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)
会員以外の皆様にもお申込みいただければ3日間限定で録画配信
- **講師**：野田口 理孝 先生
京都大学大学院 理学研究科 生物科学専攻(植物生理学) 教授
- **テーマ**：「接木の研究で広がる植物科学」
- **講演要旨**：

接木は、果樹の増殖や野菜類を土壌病害から守る目的で、2000年以上前から現在まで広く活用される園芸・農業に重要な技術です。果樹のクローン増殖や、野菜類の土壌病害への抵抗性獲得のために接木は使われ、我々の生活とは切り離せない技術です。接木は、二つの植物を一つに接ぐことでそれぞれの有用形質を共に発揮させる手法で、地上部をなす植物(穂木)と地下部の根をなす植物(台木)からなります。地上部を栽培品種とし、地下部に土壌病害や土壌ストレスに耐性を持つ品種とすることで、地上部の栽培品種を健全に育成することができるというわけです。化学肥料や農薬の使用を抑え、生物多様性の確保にもつながる技術となりえます。

接木を生物学的に捉えると、傷口の再生と見なすことができ、組織の傷応答、細胞の増殖、細胞接着、組織の分化といった生物システムが発揮されています。接木の研究は、植物の発揮する優れた生物システムを科学的に解き明かすことができると考えています。

地球規模の気候変動によって、食料・エネルギーを供給する植物の存在も脅かされています。接木の研究を通じて植物科学を進展させ、社会課題の解決への糸口を探ります。

● 講師プロフィール：

学歴：京都大学大学院理学研究科卒業(博士(理学))

職歴：カリフォルニア大学デービス校 研究員、名古屋大学大学院理学研究科 特任助教、名古屋大学大学院生命農学研究科 助教、名古屋大学生物機能開発利用研究センター 准教授を経て現職。

専門分野：植物生理学、分子生物学

主なる著書：『接ぎ木の成立メカニズムの解明と異科接木の農業利用』(2021年、バイオサイエンスとインダストリー(B&I)) 『オミクス解析と先端計測技術で広がるフィールド植物学』(2023年、文一総合出版) など

主なる講演テーマ：植物の接木における、組織の傷応答、細胞の増殖、細胞接着、組織の分化の形態学的、分子生物学的な研究の成果。気候変動における農業の課題に向けた、植物科学の展望。

参加対象/参加費：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)/ 無料

録画配信希望のお申込はご不要です。

会員以外の皆様にもお申込みいただければ3日間限定で録画配信

録画配信の準備が整い次第、視聴方法の案内メールを送らせていただきます。

申込先：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団「千里ライフサイエンスフォーラム」担当

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 Tel：06-6873-2006 Fax：06-6873-2002

E-mail：srlf-forum@senri-life.or.jp (HP：<https://www.senri-life.or.jp/>)